

**製品名:** リン酸化 ErbB 2 (Tyr1248) /ErbB 4 (Tyr1284) ウサギモノクローナル抗体

**カタログ番号:** AMRe86382

研究使用のみ

## 概要

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,ICC/IF,FC,IP
反応性	人間
標識	非共役
修飾	リン酸化
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	0.5mg/ml。本製品の濃度はロットによって異なる場合があります。
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50mM トリスグリシン（pH 7.4）、0.15M NaCl、40%グリセロール、0.01%アジ化ナトリウム、0.05%保護タンパク質を含む溶液で提供されます。受領日から12ヶ月間安定です。
精製	アフィニティー精製

## 応用

希釈倍率	WB 1:1000-1:5000,ICC/IF 1:100-1:200,FC 1:20-1:50,IP 1:20-1:50
分子量	Calculated MW:147 kDa; Observed MW:180 kDa

## 抗原情報

遺伝子名	Phospho-ErbB 2 (Tyr1248)/ErbB 4 (Tyr1284)
別名	NEU; NGL; HER2; TKR1; CD340; HER-2; MLN 19; HER-2/neu
遺伝子 ID	2064
SwissProt ID	P04626
免疫原	ヒト ErbB 2 の Tyr1248 を囲む残基に対応する合成リン酸化ペプチド

## 背景

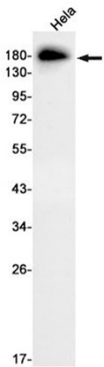
この遺伝子は、受容体型チロシンキナーゼである上皮成長因子（EGF）受容体ファミリーのメンバーをコードしています。このタンパ

ク質は独自のリガンド結合ドメインを持たないため、成長因子と結合できません。しかし、リガンド結合型 EGF 受容体ファミリーの他のメンバーと強固に結合してヘテロ二量体を形成し、リガンド結合を安定化し、マイトジェン活性化プロテインキナーゼやホスファチジルイノシトール 3 キナーゼなどの下流シグナル伝達経路のキナーゼ媒介活性化を促進します。アイソフォーム a のアミノ酸位置 654 と 655 (アイソフォーム b の位置 624 と 625) における対立遺伝子変異が報告されており、最も一般的な対立遺伝子である Ile654/Ile655 をここに示す。この遺伝子の増幅および/または過剰発現は、乳がんや卵巣腫瘍を含む多くの癌で報告されている。選択的スプライシングにより、いくつかの追加の転写バリエーションが生成され、その中には異なるアイソフォームをコードするものもあれば、完全には特徴付けられていないものもあります。[RefSeq 提供、2008 年 7 月]

## 研究分野

-

## 画像データ



ホスホ ErbB 2 (Tyr1248)/ErbB 4 (Tyr1284)ウサギモノクローナル抗体を 1:1000 で使用した HeLa 細胞抽出物のウェスタンブロット分析。